

5 . 第 26 回 サッカー競技実施要項

1.競技種目

サッカー競技とする。

2.競技規定

大会開催年度の(財)日本サッカー協会規定の「サッカー競技規則」及び本大会申合せ事項による。

3.出場資格ならびにエントリー、代表枠の確定

加盟団体単位に編成したチームとする。ただし、加盟団体単位にチームを編成できない場合は、当該ブロック内に限り、連合チームを編成することができる。

所属ブロック内にサッカーチームがない場合に限り、他ブロックのチームに加入することができる。

ブロック代表枠について

1)本大会の出場チーム数は、地元代表チームを含めて 16 チーム以内とする。

2)代表枠の決定方法は、次の順序による。

(ア)ブロックの第 1 代表(原則として優勝チーム)及び開催地元チーム、各ブロックの第 2 代表(原則として準優勝チーム)を優先する。

(イ)上記によっても 16 チーム未満の場合は、前年度予選大会参加チーム数が多いブロック順に 1 チームずつ推薦する。この配分順は大会年度の前年度日本ろう者スポーツ協会全国委員会での抽選等により決定する。(16. その他(6) に注意)

(ウ)上記 2)の規定にかかわらず、出場できるのは 1 都道府県につき、1 チームを原則とする。
(例外として、北海道は 1 ブロックとして複数チームの出場が認められる)

エントリー方法

1)本大会への出場を希望するチームは、ブロック代表枠が確定しない段階にも関わらず、規定の締切日までに実行委員会にエントリーすること。エントリーが締め切られたあとでブロック代表枠が確定するので、その段階で出場権の有無を決定する。

2)前記代表枠が決定次第、出場可否を速やかに全チームに連絡するとともに、出場権が得られなかったチームに対してはチーム参加費を返還する。

4 . チームの編成

1 チームの編成は、監督・コーチ・マネージャーを含めて、22 名以内とする

5 . 競技方法

競技は、3 チーム以上の参加により実施する。原則的にトーナメント方式により優勝以下 3 位までを決定する。ただし、出場チームが少ない場合はリーグ戦とすることがある。試合時間は 70 分とし、ハーフタイムのインターバルは、10 分とする。勝敗が決しない場合は、PK 方式により勝者を決定する。ただし、決勝戦のみ 20 分の延長戦を行う。それでも勝敗が決しない場合は PK 方式により勝者を決定する。

6 . リーグ戦の順位決定について

勝ち点の合計(勝ち 2 点、引き分け 1 点、負け 0 点)

得失点差の多い順

ゴールアベレージ 当該チーム間の対戦成績

7. 使用球

試合球は、(財)日本サッカー協会公認 5 号球とする。

8. 組み合わせ抽選

監督・主将等合同会議において、抽選を行う。本抽選のくじ引き順を決める予備抽選は、同会議への出席受付順とする。

9. 競技者の交代

交代については、試合開始前に登録した 9 名の交代要員の中から 5 名までの交代が認められる。

10. 警告・退場者の取り扱い

退場を命じられた選手は、次の 1 試合もしくは 2 試合に出場することができない。
処分(1 試合又は 2 試合)は試合終了後、規律委員会で決定し、チームに通告する。

11. 危険物

競技中は、メガネおよび補聴器の装着を認めない。

12. ユニフォーム

参加申込書に登録されたものを原則とし、参加申込書送付後の変更は認めない。

なお、選手番号の変更も認めない。

正のユニフォームの他、異なる色のユニフォーム(副)を参加申込書に記載し、試合には必ず正副のユニフォームを携行すること。(GK も正副揃える)

選手番号は必ず参加申込書に登録された選手固有の番号をつけること。

【ユニフォームに取り付ける選手番号について】

・シャツの背中 高さ 25 cm

シャツの前面 右側・左側・中央に高さ 10cm

パンツの右側又は左側に高さ 8cm(シャツの番号と同一)

試合におけるユニフォームの決定は、1 回戦は監督・主将会議で行う。2 回戦以降は、メンバー表交換の場で決める。

サマーアンダーショーツ(スパッツ)を着用する場合は、パンツの主な色と同色とする。

13. 審判の合図

フリーキック、PK、プレースキックで、キッカーに蹴らせるタイミングを知らせる笛の代わりに、笛がなり始めてから終わるまでの間、主審は片手を前に水平に伸ばして示すものとする。

14. 表彰

表彰は決勝戦終了後、閉会式において行う。

個人表彰は、「最優秀選手賞」(1名)・「優秀選手賞」(ベスト 4 のチームから各 1 名)とし、選考は競技主管である開催地のサッカー協会が行う。

15. 本大会は、テクニカルエリアを設ける。

テクニカルエリアの使用について、チーム役員は、その都度1名がテクニカルエリアから戦術的指示を与えることが出来る。指示を伝えたら所定の位置に戻らなくてはならない。全てのチーム役員は、その中に止まっていなければならないし、責任ある態度で行動しなければならない。

16. 審判補助員の配置

ゴール裏斜めの位置に、旗を持った補助員 1 名(計 2 名)を置く。

17. 注意事項

(1)メンバー表の提出

メンバー表は 3 部複写とし、3 部提出し確認を受けること。1 部はチーム控えとして返却する。メンバー表、交代用紙は監督・主将等合同会議にて配布する。第1試合については、試合開始予定時間の 40 分前に競技本部に提出すること。以降の試合については、前の試合のハーフタイム時に提出すること。試合に勝ったチームは、試合終了後に次の試合のメンバー表を競技本部まで取りにくること。

(2)交代用紙

交代用紙は 5 枚配布する。用紙には、時間、選手名(フルネーム)、監督のサインを記入すること。

(3)チーム・ベンチ

第 4 審判員席からグラウンドに向かって左側のベンチは組み合わせの左側のチームが、右側ベンチは組み合わせの右側のチームが使用する。

テクニカルエリアに設置されたベンチには、11 名が着席出来る。

(4)練習時間

グラウンドでの練習は、試合開始 20 分前より 10 分前とする。ただし、大会運営上支障があるときは、変更することがある。

(5)競技の組み合わせ

組み合わせ方法は競技実施要項にもとづくものとするが、最終的には参加申し込みチーム数に応じて、主催者と競技主管が協議して決定する。前大会の成績によるシード制を採用することがある。

(6)その他

注意事項は、チーム全員に徹底しなければならない。

実行委員会は大会参加申込締切後、参加チームが 16 に満たない場合、すぐ日本ろう者スポーツ協会事務局にその旨を伝えること。

18. 本要項の改正

- ・一部改正 2004 年 2 月 22 日 第 6 回全国委員会
- ・一部改正 2005 年 2 月 27 日 第 7 回全国委員会